

子ども・障がい者等の医療費窓口完全無料化
の一刻も早い実現求める請願書

平成29年2月23日

長野県議会議長
向山 公人 殿

紹介議員署名

小林伸陽
今井正子
高島陽子

(請願者)

代表者(住所) 長野市高田 276-8 県労連会館1F
長野県社会保障推進協議会内

(氏名) 福祉医療給付制度の改善をすすめる会
会長 和田 浩 (印)

【請願要旨】

日頃、福祉の向上にご尽力いただき感謝申し上げます。

私たちは、子どもをかかえる若い世帯、ひとり親世帯、障がい者やその家族などが、経済的な心配をしないで、安心して医療を受けられる機会が保障されるように、福祉医療給付制度の改善を願って活動してきました。

この間、県や市町村では子どもの医療費助成においては、対象年齢の拡大がされてきており大変喜んでいますが、私たちは、窓口無料を実施している都道府県が多くある中で、長野県でも、現行の自動給付方式ではなく、窓口無料の実施を強く願っています。

さて、私たちは、年末の知事の記者会見での「現物給付化検討」の発言を心から歓迎し、一刻も早く実現するよう願っています。

したがって、長野県に対して、以下の事項の実現を求めます。

【請願事項】

1. 子どもや障がい者等の福祉医療給付制度は、現行の自動給付方式をやめ、一刻も早く窓口完全無料にして下さい。
2. 制度のあり方を検討する場をつくり、子どもの親や障がい者などの当事者を参加させて下さい。